

本は友達

「事実にもとづいて書かれた本を読もう」

～読んだ本をしょうかいし合おう～ポップと帯～

小学校4年 国語

「事実にもとづいて書かれた本を読もう」

資料活用、利用指導

ねらい

- ノンフィクションの本を読んで、そのよさをポップや帯で紹介する。
- ポップや帯の役割や書式を知り、キャッチコピー、簡単な紹介や感想、題名や作者・筆者名の書き方を学ぶ。

学習展開

- ① ノンフィクション(ドキュメンタリー・ルポルタージュ・伝記)の本を約30冊、ケースに入れて学級に貸し出し、読む期間を設ける。
- ② ポップ・帯について知り、紹介したい本を読んできたノンフィクション本 30冊の中から、1冊決める。
- ③ 文に重点を置き、何を書くか、どこに書くかが分かりやすいワークシートを用意し、絵や文で、読んだ本の良さを紹介する。
- ④ 互いのポップや帯を見せ合い、感想交流をし、ふり返りをする。

本のポップ

- ・キャッチコピー・心に残った文
- ・本の題名
- ・作者名・筆者名
- ・簡単な内容・あらすじ・感想
- ・できるだけ出版社名(著作権の問題)

本の帯

- ・キャッチコピー・心に残った文
- ・簡単な内容・あらすじ・感想
- ・他の人の感想・その人の名前

◆司書教諭と学校司書の関わり

- 司書教諭は、ポップと帯の役割や書式を説明する。ワークシートの書式を担任と打ち合わせ、ワークシート等の準備物を整え、進行する。
- 学校司書は、ノンフィクション(ドキュメンタリー・ルポルタージュ・伝記)の本を約30冊、ケースに入れて学級に貸し出す。
- 担任は、読書期間にしっかり読み込ませ、ポップや帯を書くとき、キャッチコピー、あらすじ、感想がスムーズに書けるようにしておく。

★指導のポイント

- ◆ ポップと帯の相違点を明確にし、児童に選択させる。
- ◆ キャッチコピー、あらすじ、感想等の文作りに重点を置き、絵も文も両方書くことの負担感を軽減する。
- ◆ どこに何を書いたらよいか分かりやすい書式のワークシートにする。

資料

「あなたの声がききたい」(佼成出版社)「やんちゃ子グマがやってきた！」(フレーベル館)「ランドセルは海を越えて」(ポプラ社)「ゾウの森とポテトチップス」(そうえん社)「ルイ・ブライユと点字をつくった人びと」(岩崎書店)等